

マーケットの動き (2022年3月21日～3月25日)

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

ウクライナ侵攻の長期化によるインフレ高止まりや、FRB（米国連邦準備制度理事会）議長の利上げ加速に前向きな発言は懸念材料であるものの、好調な米国経済は利上げに耐えられるとの楽観論がやや優勢となったことで、買戻しの動きが広がりました。

一方、欧州市場はウクライナ情勢や景気悪化に対する懸念から米国に劣後しました。

投資環境見通し (2022年3月)

外国株式相場は、米国、欧州とも方向感に欠ける展開

米国：FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融政策正常化のペースや、ウクライナ情勢の先行きが警戒されることから、株式相場は変動率の高い状況にあると考えています。年初からの株価調整を経て、さらなる下値余地は限定的と考えられますが、これまでの過剰流動性に支えられ割高感の強まった銘柄については株価水準の調整や戻り売りが続くこととみられることから、上値余地についても限定的とみています。

欧州：欧州では、米国株式相場の動向に加え、地理的に近く域内経済に対する影響が大きいとみられるウクライナ情勢の動向を注視しつつ、当面は方向感に欠ける展開になるとみています。

	3月25日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,543.06	1.79%	3.61%	2.25%	16.21%
NYダウ	34,861.24	0.31%	2.36%	▲0.02%	6.87%

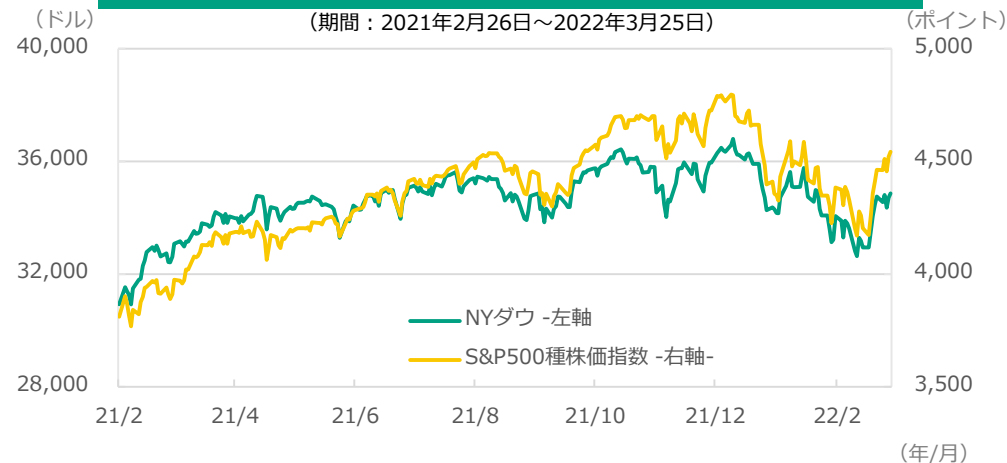
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

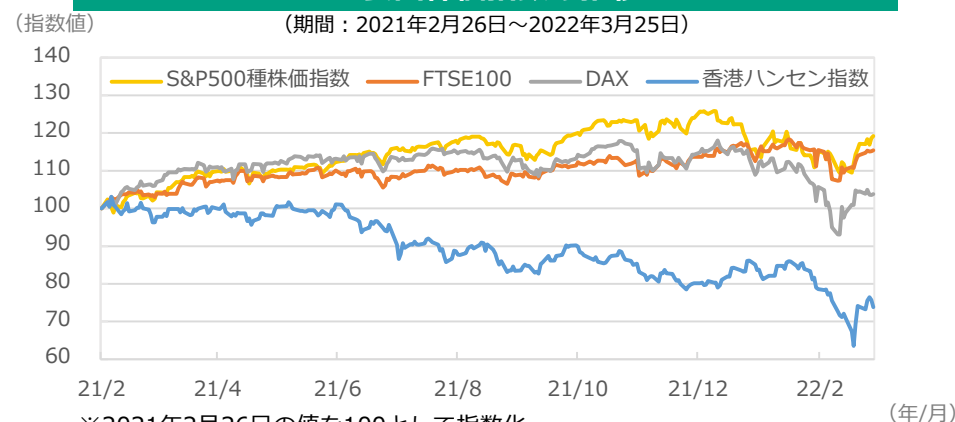
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202203_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2021年2月26日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成